

景観形成の目標

文化交流機能とゆとりある空間を生かした景観づくり



方針1 ゆとりと広がりのある景観の創出

- 立川基地に由来する大規模敷地や広がりのある空間を生かしながら、ゆとりある美しい市街地として、特徴ある街並み景観づくりをすすめます。

方針2 骨格をなす緑が映える景観の形成

- 国営昭和記念公園の大きな緑の塊や幹線道路の街路樹などの特徴的な緑と民有地の緑を生かした緑豊かなうらおいある景観づくりをすすめます。

方針3 都心機能が象徴的に映る景観の創出

- ゆとりある空間と豊かな緑に都心機能が象徴的に映えるような新市街地にふさわしいスケールを生かした景観づくりをすすめます。

景観形成
の方針

1 配置

景観形成基準

配置
01

建築物の配置を工夫するなど、隣接する敷地や公共空間に面して空地を設け、**開放感のある街並み**となるよう配慮する。

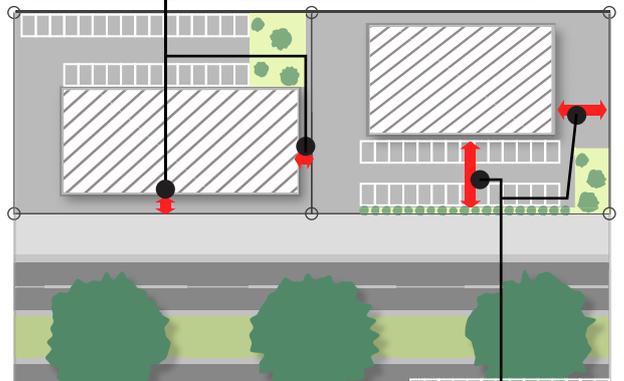


■ 開放感のある街並みの形成

景観配慮のポイント

建築物が道路際に配置されると、圧迫感を与えとともに閉鎖的な空間となるため、配置を工夫し、開放感のある空間の確保に配慮しましょう。

△道路や隣地側にゆとりスペースのない配置



○道路や隣地側に一定のゆとりスペースを確保し、駐車場等の空地を設ける場合は、道路側に配置

配置
02

景観形成基準

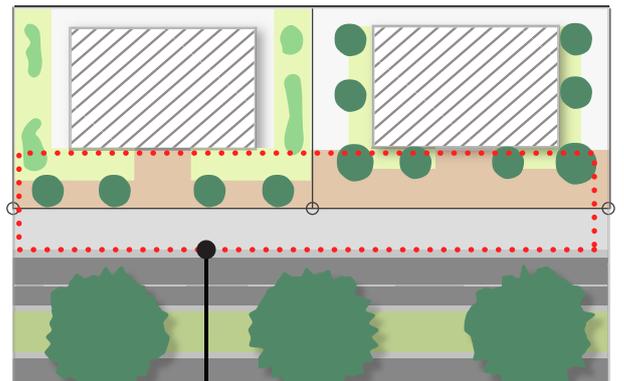
隣接地と連続したオープンスペースや空地を設けるなど、**開放的な街並みの形成**に努める。



■ 開放的な街並みの形成

景観配慮のポイント

沿道と連続したゆとり空間は、歩行者等にとってゆとりが感じられ、快適な空間となるため、隣接する敷地とオープンスペースを連続的に創出し、開放的な街並みの形成に配慮しましょう。



○連続したオープンスペースの確保により歩行者等にゆとり空間を確保

配置
03

景観形成基準

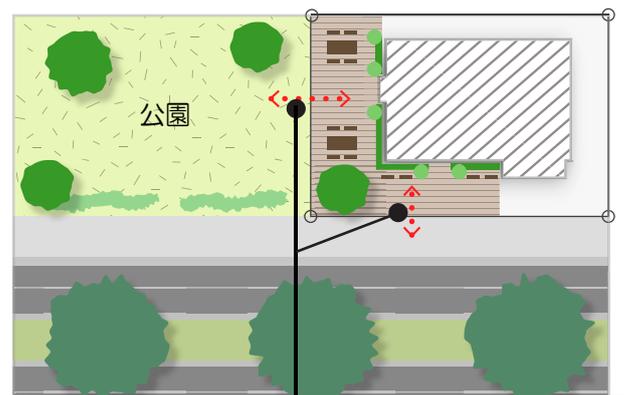
道路や公園などに面してオープンスペースを設ける場合は、歩行者空間や隣接する**オープンスペースとの連続性の確保**に努める。



■ オープンスペースとの連続性の確保

景観配慮のポイント

道路や公園などの公共施設は、多くの人に利用されるため、これらに面してオープンスペースを設ける場合は、それを意識した開放的な空間の創出に配慮しましょう。



○公園や道路に面してテラスを設けるなど、公共空間との繋がりや一体性を意識したオープンスペースの確保

2 外観（形態・意匠、色彩、屋外設備）

外観 (形態・意匠) 01 景観形成基準
秩序と風格の感じられる街並みとなるよう、建築物全体のバランスだけでなく、**周辺の街並みとの調和**を図る。



■ 周辺の街並みとの調和

景観配慮のポイント

各々の建物が主張しすぎると不調和でまとまりがない街並みとなるため、隣接する建物と形態や意匠、デザイン等が不調和にならないよう、街の連続性・規則性に配慮しましょう。

△奇抜な意匠の建築物は周辺と不調和



○周辺との関係性に配慮した建築物の形態・意匠

外観 (形態・意匠) 02 景観形成基準
主要な道路に面して沿道に**顔を向けた意匠**となるよう努める。

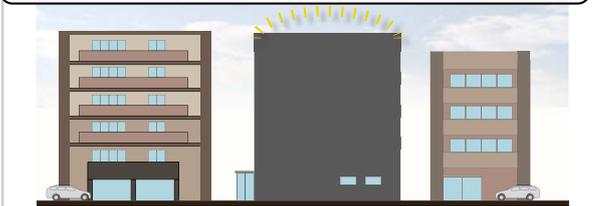


■ 顔を向けた意匠

景観配慮のポイント

主要な道路は歩行者等が多く利用し、目に触れることが多いため、主要な道路に対して窓やエントランスを設けるなど、道路からの見え方に配慮し、単調な街並みにならないように配慮しましょう。

△主要道路からの見え方に考慮していない無愛想な外観



○主要道路に対して窓やエントランスを設けたデザイン



(モニタージュ)



主要な道路に対して無表情な印象の大壁面



歩道からの見え方を意識した表情豊かな街並み

外観 (色彩) 03 景観形成基準 色彩は、別表 4-4-1 (P79) ※に示す色彩基準に適合するとともに、**周辺の並みとの調和**を図る。
 ※立川市景観計画（詳しくは「立川市景観色彩ガイドライン」を参照）

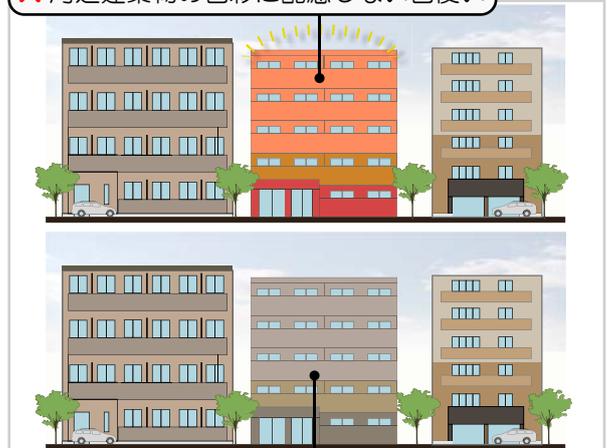
Point

■ 周辺の街並みとの調和

景観配慮のポイント

計画地周辺の街並みがどのような色彩で構成されているかを確認しましょう。色彩基準に照らし合わせ、計画建築物の色彩が周辺の街並みと調和するよう配慮しましょう。

✗ 周辺建築物の色彩に配慮しない色使い



○ 周辺建築物と調和した色使い

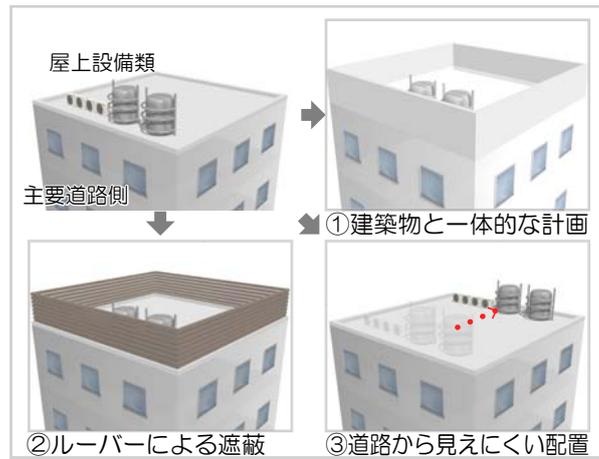
外観 (屋外設備) 04 景観形成基準 屋根や屋上に設備などがある場合は、建築物と一体的に計画するなど**周辺からの見え方**に配慮する。

Point

■ 周辺からの見え方

景観配慮のポイント

屋外設備を設置する場合は、周辺から見える場所があるかを確認しましょう。見えてしまう場合は、屋根や壁等と一体的に計画するか、ルーバー等による遮蔽、もしくは見えにくい配置となるよう配慮しましょう。



建築物と一体的な計画による屋上設備類の遮蔽



ルーバーによる屋上設備類の遮蔽

外観
(屋外設備)
05

景観形成基準

駐車場や駐輪場、ごみ置き場などの付属設備や屋外階段は、建築物との調和を図り、**周囲からの見え方**に配慮した配置や意匠に努める。

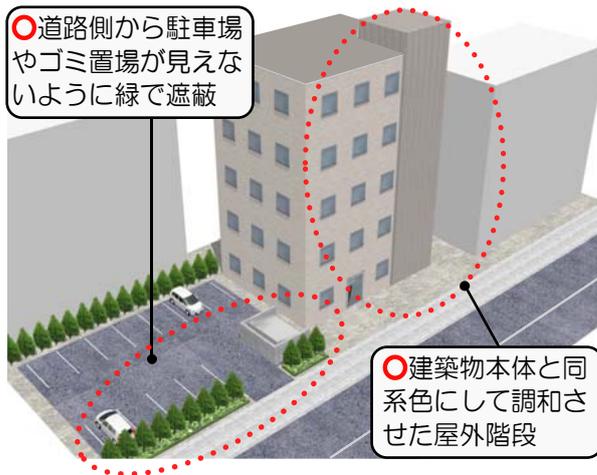


■ 周囲からの見え方

景観配慮のポイント

駐車場、駐輪場、ゴミ置き場等の付属設備は、道路側に露出したまま設置すると殺伐とした印象となるため、植栽や塀等による遮蔽や見えにくい配置となるよう配慮しましょう。また、屋外階段は建築物本体と一体的に見えるような形態・意匠に配慮しましょう。

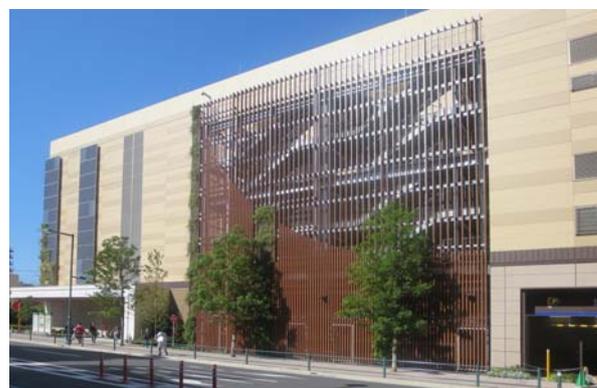
○道路側から駐車場やゴミ置場が見えないように緑で遮蔽



○建築物本体と同系色にして調和させた屋外階段



低層部の屋外設備類をルーバーで遮蔽



屋外階段をルーバーや植栽により遮蔽

3 高さ・規模

高さ・規模
01

景観形成基準

周辺の主な視点からの見え方を考慮し、周辺の建築物の高さとのバランスに配慮し、**秩序感のある街並みの形成**に努める。



■ 秩序感のある街並みの形成

景観配慮のポイント

周辺の建築物から高さが突出すると街並みの秩序感や統一感が損なわれます。周辺の主な視点から見える場所があるかを確認し、見える場所がある場合は、周辺建築物との高さのバランスに配慮しましょう。



周辺の建築物との高さ・規模のバランスに配慮

周辺の主な視点からの見え方や**周辺の街並みとの調和**に配慮した規模とする。



■ 周辺の街並みとの調和

景観配慮のポイント

建築物の規模は敷地規模によってある程度決まりますが、周辺の建築物等との関係性に配慮しなければ、街並みの秩序が阻害されることもあるため、周囲の建築物と調和した規模となるように配慮しましょう。
交差点などの主な視点から見た場合に、大規模な壁面が発生しないよう配慮しましょう。

△交差点等の主な視点から大規模な壁面が露出



○壁面が大きくなり過ぎないように、壁面の規模を分節するとともに、周辺の建築物の規模との調和

4 緑化・植栽

敷地内はできる限り植栽し、**周辺の緑と連続**するよう、屋上や壁面の緑化を積極的に行う。



■ 周辺の緑との連続性

景観配慮のポイント

緑は、潤いのある豊かな景観を創出し、四季の変化により魅力的な景観を演出する重要な要素であるため、植栽スペースが取れない場合であっても、屋上緑化や壁面緑化を検討し、沿道において緑の繋がりが創出できるように配慮しましょう。

△緑が少ないと建築物の人工的な印象が際立つ



○建築物の壁面や屋上の緑化を積極的に行い、緑の連続性や潤いの創出



壁面緑化



屋上緑化

交差点などに面する敷地は、植栽するなど**公共空間からの見え方**に配慮する。

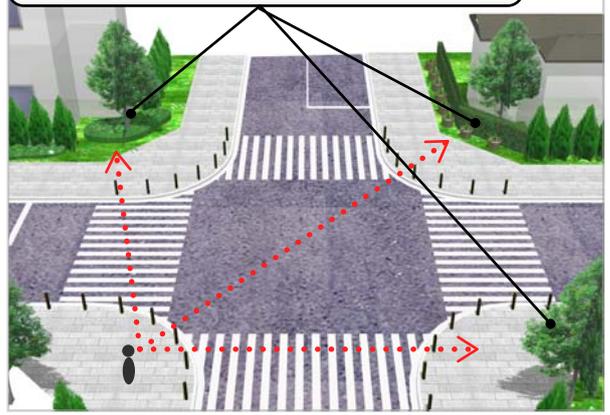


■ 公共空間からの見え方

景観配慮のポイント

交差点やT字路などに面する敷地は、アイストップとして、広く見られる場所となるため、安全面への配慮をしつつ、植栽などによる潤いや安らぎのある景観を創出することにより、快適な街並みの演出に配慮しましょう。

○ 交差点などに面する敷地の積極的な植栽



交差点に面する部分の積極的な植栽



街角へのシンボルツリーの植栽

5 外構

公共空間や隣接する敷地などと**調和した意匠**に努める。

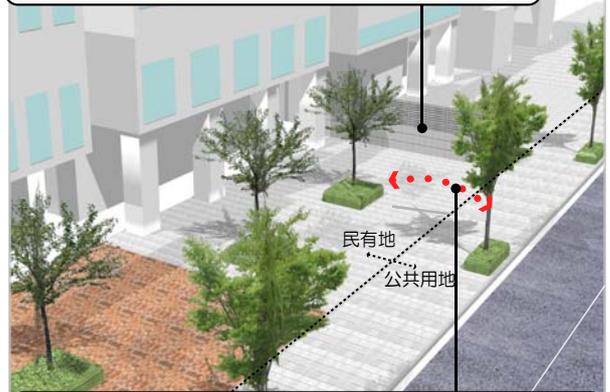


■ 調和した意匠

景観配慮のポイント

大規模な商業施設や集合住宅等は、民有地と公共用地により、ゆとりのある歩行者空間を確保することができるため、舗装や塀等の外構計画においては、隣接地との調和に配慮しましょう。

△ 塀等により隣接する敷地との連続性を阻害



○ 民有地と公共用地（歩道）の舗装等の色や意匠を揃えるとともに、緑の繋がりにも配慮



緑の繋がりや公共用地と民地の舗装の調和



公共用地と民地の舗装の調和

6 照明

景観形成基準

照明
01

低層部の壁面や外観、外構を照らすなど、**周辺的环境に応じた照明**を行う。



■ 周辺的环境に応じた照明

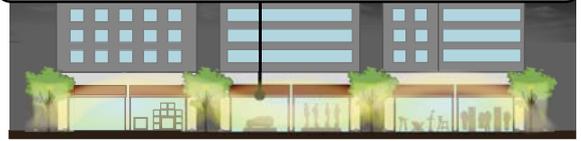
景観配慮のポイント

照明は、街の安全性を確保するだけでなく、賑わいづくりに必要な要素ですが、過度な照明やライトアップは、周辺的生活環境や都市活動、動植物に対して害になることもあるため、間接照明を用いるなど、場所に応じて必要最小限の照明に配慮しましょう。

△シャッターが閉まっており魅力に欠ける空間



○ショーウィンドウのライトアップにより魅力的な空間の創出



低層部の雰囲気のある夜間景観の演出



ショーウィンドウを生かした賑わいのある夜間景観の演出

7 歴史・自然

景観形成基準

歴史・自然
01

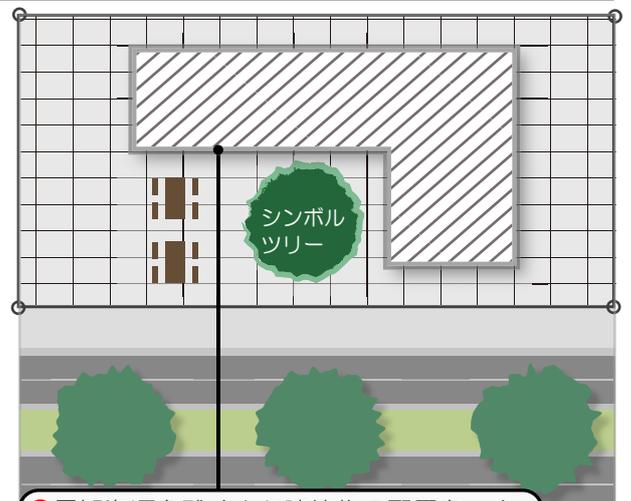
歴史的な建造物、遺構、残すべき既存樹木などが敷地内にある場合は、建築物の配置を工夫するなど、**地域の特徴として生かす**。



■ 地域の特徴として活用

景観配慮のポイント

歴史を感じる建造物や遺構、地域のシンボルとなる巨樹、古木などは地域の景観を特徴づける重要な要素となるため、それを保全するだけでなく地域のシンボルとして活用し、道路から見えやすいよう建築物等の配置を工夫しましょう。



○景観資源を残すよう建築物の配置を工夫